

(様式第9)

自医病経 159 号
平成 22 年 10 月 5 日

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 自治医科大学
理事長 香山 充

自治医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	113	人
--------	-----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	667人	50.9人	717.9人	看護補助者	8人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	1.6人	22.6人	理学療法士	15人	臨床検査技師	111人
薬剤師	60人	1人	61.0人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	2人	0人	2.0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	50人	2人	51.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1107人	57人	1148.4人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	7人	1.6人	8.6人	歯科技工士	2人	事務職員	107人
管理栄養士	11人	0人	11.0人	診療放射線技師	62人	その他の職員	10人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	883 人	16 人	899 人
1日当たり平均外来患者数	2508 人	141 人	2649 人
1日当たり平均調剤数		2437 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	85人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	76人	・広範脊柱管狭窄症	40人
・重症筋無力症	123人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・全身性エリテマトーデス	389人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	37人
・再生不良性貧血	63人	・混合性結合組織病	55人
・サルコイドーシス	134人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	47人	・特発性間質性肺炎	14人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	196人	・網膜色素変性症	21人
・特発性血小板減少性紫斑病	131人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	38人	・肺動脈性肺高血圧症	11人
・潰瘍性大腸炎	234人	・神経線維腫症	10人
・大動脈炎症候群	47人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	25人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	31人	・慢性血栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	94人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	145人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	11人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	288人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12人
・後縦靭帯骨化症	87人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	39人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	43人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	38人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	7人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長期臥床を必要とする傷病者に対するポータブル褥創防止デバイスの開発	堀江久永	消化器外科	800,000	補委 文部省科学研究費補助金(日本学術振興会)
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharma Medica 27(11) : 59-63	切除不能・両葉多発大腸癌肝転移に対するFOLFOX化学療法後の外科切除。	俵藤正信	消化器・一般外科
手術63(10) : 1565-1569	食道癌切除・後縦隔胃管再建術後の乳び胸に対して左側アプローチの胸腔鏡下胸管クリッピングが有効であった1例。	細谷好則	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌42(9) : 1496-1500	Colonoscopy cholecystitisと考えられる気腫性胆嚢炎の1例。	井上賢之	消化器・一般外科
日本消化器内視鏡学会雑誌51(12) : 3063-3069	10mm以下の大腸SM深部浸潤(1000µm以上)癌は内視鏡所見から診断できるか？	熊野秀俊	消化器・一般外科
日本臨床外科学会雑誌70(11) : 3355-3359	3つの異なる領域から血管支配を受けた巨大小腸GISTの1例。	黒河内 頌	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌42(8) : 1430-1435	上部空腸憩室穿孔による急性汎発性腹膜炎を起こした1例。	小泉 大	消化器・一般外科
日本内視鏡外科学会雑誌14(5) : 557-562	高度慢性胆嚢炎を合併した左側胆嚢結石症に胸腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例。	小泉 大	消化器・一般外科
日鏡外会誌14(6) : 733-738	後腹膜粘液嚢胞腺腫に対しS. A. N. D. パルーンカテーテルが有用であった後腹膜鏡下腫瘍摘出術の1例。	小泉 大	消化器・一般外科

癌の臨床55(2) : 121-126	下部直腸癌に対する術前放射線と即方郭清併用の有効性.	宮倉安幸	消化器・一般外科
日本内視鏡外科学会雑誌14(3) : 313-316	回盲部子宮内膜症による回腸狭窄に対し腹腔鏡補助下手術が有用であった1例.	宮倉安幸	消化器・一般外科
日本臨床外科学会雑誌70(10) : 3056-3060	大腸多発側方発育型腫瘍(LST)に対して腹腔鏡補助下大腸亜全摘術を施行した1例.	宮倉安幸	消化器・一般外科
今日の移植22(4) : 411-416	小児ドナーから成人レシピエントへの膵腎同時移植.	佐久間康成	消化器・一般外科
消化器内視鏡21(12) : 1912-1913	胆膵内視鏡のトラブルシューティング c. 胆道鏡 i. PTBD施行のトラブル.	佐田尚宏	消化器・一般外科
日本外科感染症学会雑誌6(6) : 649-653	診断治療に苦慮した感染性肝嚢胞の1例.	佐藤寛丈	消化器・一般外科
日本臨床外科学会雑誌70(8) : 2509-2514	小網に発生した巨大な成人リンパ管腫の1切除例.	田口昌延	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌42(6) : 680-684	妊娠中に切除した虫垂粘液嚢腫の1例.	田中宏幸	消化器・一般外科
日本消化器病学会雑誌106(5) : 668-673	卵黄嚢腫瘍に対する放射線療法22年後にS状結腸癌を発症した若年女性の1例.	宇井 崇	消化器・一般外科
JOP. Journal of the Pancreas 10(1) : 59-63	Pancreatic arteriovenous malformation : a case report of hemodynamic and three-dimensional morphological analysis using multi-detector row computed tomography and post-processing methods.	Endo, K.	消化器・一般外科
Hepato-Gastroenterology 56 : 1571-1575	Gasless laparoscopic distal gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Annals of Thoracic Surgery. 87(2) : 647-649	Esophagectomy and gastric pull-up in patients with previous free jejunal transfer.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Int. J. Clin. Oncol. 14 : 262-265	Gastrointestinal stromal tumor of the stomach with extremely slow-growing hematogenous metastasis.	Kurashina, K.	消化器・一般外科
Gastric Cancer 12 : 101-105	New double-stapling technique for esophagojejunostomy and esophagogastrostomy in gastric cancer surgery, using a peroral intraluminal approach with a digital stapling system.	Ohdaira, H.	消化器・一般外科
Journal of Hepatobiliary Pancreat Surgery16(3) : 274-282	Transintestinal hepatectomy performed by hybrid NOTES using the customized X-TRACT Tissue Morcellator with an electrofiable round cutter.	Ohdaira, H.	消化器・一般外科
Ultrasound in Med. & Biol. 35(8) : 1249-1256	Sentinel node detection method using contrast-enhanced ultrasonography with sonazoid in breast cancer: preliminary clinical study.	Omoto, K.	消化器・一般外科
Esophagus 6 : 177-181	A clinicoathological study of basaloid squamous carcinoma of the esophagus.	Saito, S.	消化器・一般外科
Transplant. Proc. 41(1) : 343-345	Effect of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide in islet transplantation.	Sakuma, Y.	消化器・一般外科

Ann. Surg. Innov. Res. 3(1) : 16	Increased liver regeneration rate and decreased liver function after synchronous liver and colon resection in rats.	Sasanuma, H.	消化器・一般外科
J. Hepatobiliary Pancreat. Surg. 16 : 485-492	The effect of adjuvant and neoadjuvant chemo(radio)therapy on survival in 1,679 resected pancreatic carcinoma cases in Japan: report of the national survey in the 34th annual meeting of Japanese Society of Pancreatic Surgery.	Sata, N.	消化器・一般外科
Abdominal Imaging 34 : 113-120	Preoperative virtual simulation of adrenal tumors.	Shiozawa, M.	消化器・一般外科
Am. J. Surg. Pathol. 33(11) : 1601-1607	Evaluation of venous invasion by elastic van gieson stain and tumor budding predicts local and distant metastases in patients with T1 stage colorectal cancer.	Suzuki, A.	消化器・一般外科
Gastrointestinal Endoscopy 69(suppl 3) : 734-741	A comparison of conventional endoscopy, chromoendoscopy and optical band imaging system for the differentiation of neoplastic versus non-neoplastic colonic polyps.	Togashi, K.	消化器・一般外科
Esophagus 6 : 189-195	Therapeutic effectiveness of chemoradiotherapy for carcinosarcoma of the esophagus: two case reports and a review of the literature.	Zuiki, T.	消化器・一般外科
移植44(5) : 438-445	小児生体肝移植後胆管合併症と治療.	川野陽一	消化器・一般外科
日本臨床外科学会雑誌 70(5) : 1291-1296	高サイログロブリン血症を契機に発見された甲状腺濾胞癌異時性多発骨転移の1例.	眞田幸弘	消化器・一般外科
Surgery 145 : 120-121	Colocutaneous fistula after left inguinal hernia repair using the mesh plug technique.	Ishiguro, Y.	消化器・一般外科
Transplantation International 22 : 1151-1158	Diagnosis and treatment of pediatric patients with late-onset portal vein stenosis after living donor liver transplantation.	Kawano, Y.	消化器・一般外科
International Journal of Oncology 35 : 1005-1014	Cytoskeletal changes during epithelial-to-fibroblastoid conversion as a crucial mechanism of des- γ -carboxy prothrombin production in hepatocellular carcinoma.	Murata, K.	消化器・一般外科
Pediatric Transplantation 13 : 194-199	Lymphocytotoxic crossmatch in pediatric living donor liver transplantation.	Saito, T.	消化器・一般外科
Transplantation Proceedings 41(10) : 4214-4219	Living donor liver transplantation for congenital absence of the portal vein.	Sanada, Y.	消化器・一般外科
Transplantation Proceedings 41 : 88-90	Strategic hand assistance for effective and safe retroperitoneoscopic live donor nephrectomy.	Yashi, M.	消化器・一般外科

計 40

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
びまん性肺疾患に関する調査研究	杉山幸比古	呼吸器内科	54,500,000	補委 厚生労働省
新規融合型がん遺伝子を標的とした肺がんの分子診断法および治療法の開発	杉山幸比古	呼吸器内科	3,000,000	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日呼吸会誌 47:960-964	バラ温室栽培従事者における過敏性肺炎の一例	天野陽介	呼吸器内科
Journal of Bronchology 16:229-235	Risk of acute exacerbation after video-assisted thoracoscopic lung biopsy for interstitial lung disease	坂東政司	呼吸器内科
Jpn J Radiol 27:115-122	Volume of pulmonary lobes and segments in chronic obstructive pulmonary diseases calculated using newly developed three-dimensional software	大門皇寿	呼吸器内科
Intern Med 48:753-761	Nonspecific interstitial pneumonia associated with collagen vascular disease: analysis of CT features to distinguish the various types	大門皇寿	呼吸器内科
Eur Respir J 33:1415-1428	Interleukin-1 receptor-related protein ST2 suppresses the initial stage of bleomycin-induced lung injury	間藤尚子	呼吸器内科

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 0

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Interactive Cardiovasc Thorac Surg 9:547-548,2009.	Extralobar pulmonary sequestration presenting as hemothorax.	手塚憲志	呼吸器外科
J Bronchol Intervent Pulmonol 16(4):241-244,2009.	Bispectral index monitoring of midazolam sedation during flexible bronchoscopy.	山本真一	呼吸器外科
J Bronchol pulmonol 17(3):273-275,2010.	A new technique for the examination of tracheal tumors. The bronchoscopic turned around procedure.	山本真一	呼吸器外科
J Anesth 24:132-133,2010.	Unsuspected tracheal web inhibits endotracheal intubation: report of a case.	山本真一	呼吸器外科
Jichi Med University J. 32:77-83,2009.	Minimal lung cancer with extensive chest wall invasion: report of two cases.	遠藤哲哉	呼吸器外科
胸部外科62(5):358-361,2009.	縦隔成熟型嚢胞奇形腫に対する内容物吸引併用胸腔鏡下手術.	中野智之	呼吸器外科
Ann Thorac Surg 87(6):1961-1961,2009.	Chronic expanding mediastinal hematoma.	中野智之	呼吸器外科
Ann Thorac Surg 88(1):306-306,2009.	Hemothorax caused by a solitary costal exostosis.	中野智之	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 58(2):98-100,2010.	Thymic clear cell carcinoma.	中野智之	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 57(12):664-666,2009.	End-stage localized bronchiectasis mimicking a hemangiona.	大溪清佳	呼吸器外科

計 10

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成度に関する研究	苅尾七臣	循環器内科	1,300,000	補委 循環器病研究委託事業19公-8
我が国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	苅尾七臣	循環器内科	1,000,000	補委 循環器病研究委託事業
夜間睡眠時トリガー血圧計の開発と臨床応用へ向けた国際多施設研究への展開	苅尾七臣	循環器内科	2,200,000	補委 科学研究費補助金(基盤研究B)
難治性血管炎に対する血管再生医療の多施設共同研究	高橋将文	循環器内科	2,200,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
血友病とその治療に伴う合併症の克服に関する研究	高橋将文	循環器内科	3,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)
心血管ストレスの感知機構としてのインフラマソームの役割の解明	高橋将文	循環器内科	7,100,000	補委 文部科学省科学研究費(新学術領域研究)
心血管疾患における新規治療標的としてのアダプター分子ASCとその制御機構の解明	高橋将文	循環器内科	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費(基盤研究C-2)
心血管疾患を惹起する初期炎症反応を検出する新規イメージング法の開発	高橋将文	循環器内科	2,000,000	補委 平成21年度研究助成事業 福田記念医療技術振興財団
生活習慣病の発症・進展における新規自然免疫経路であるインフラマソームの役割の解明と治療への応用	高橋将文	循環器内科	500,000	補委 平成21年度研究奨励金給付事業 ホクテ生物科学振興財団
生活習慣病である動脈硬化とメタボリック症候群に共通の発症・進展基盤の解明:新規の自然免疫経路であるインフラマソームを中心とした解析	高橋将文	循環器内科	1,000,000	補委 平成21年度調査研究助成金 医科学応用研究財団
マウス胚性幹細胞を用いた、効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野修市	循環器内科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(一般)

計 11

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J 2009;73:2148-2153	Valve repair improves central sleep apnea in heart failure patients with valvular heart disease.	高橋 将文	循環器内科

Biophys Res Commun 2009;382:46-50	Characterization of hepatic sexual dimorphism in Alb-DsRed2 transgenic rats.	高橋 将文	循環器内科
Int J Cardiol 2009;131:240-245	Anti-beta1-adrenergic receptor antibodies and myocardial sympathetic nerve activity in chronic heart failure.	高橋 将文	循環器内科
Biochem Biophys Res Commun 2009;381:654-659	Notch signaling regulates the differentiation of bone marrow-derived cells into smooth muscle-like cells during arterial lesion formation.	高橋 将文	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:46-51	Night time blood pressure variability is a strong predictor for cardiovascular events in patients with type 2 diabetes.	江口 和男 石川 讓治	循環器内科
Diabetes Care 2009;32:e24	Impact of white-coat hypertension on microvascular complications in Type 2 diabetes: response to Kramer et al.	江口 和男 苅尾 七臣	循環器内科
J Hypertens 2009;27:1172-1177	What is the optimal interval between successive home blood pressure readings using an automated oscillometric device?	江口 和男 Pickering TG	循環器内科
J Epidemiol 2009;19:49-55	Plasma adiponectin level and myocardial infarction: the JMS Cohort Study.	石川 鎮清	循環器内科
J Epidemiol 2009;19:24-27	Physical activity and all-cause mortality in Japan: the Jichi Medical School (JMS) Cohort Study.	石川 鎮清	循環器内科
J Bone Miner Metab 2009;27:149-157	Formation of bone-like mineralized matrix by periodontal ligament cells in vivo: a morphological study in rats.	高橋 将文	循環器内科
J Cardiol 2009;54:409-415	Plasma granzyme B as a predicting factor of coronary artery disease - Clinical significance in patients with chronic renal failure.	池本 智一 北條 行弘	循環器内科
Clin Pharmacol Ther 2009;86:154-159	Hypertension induced by erythropoietin has a correlation with truncated erythropoietin receptor mRNA in endothelial progenitor cells of hemodialysis patients.	藤村 昭夫	循環器内科
Hypertension 2009;53:28-34	Cornell product left ventricular hypertrophy in electrocardiogram and the risk of stroke in a general population.	石川 讓治 石川 鎮清	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:934-935	Does eicosapentaenoic acid truly reduce atherosclerosis?	石川 鎮清 苅尾 七臣	循環器内科

J Epidemiol 2009;19:101-106	Risk charts illustrating the 10-year risk of stroke among residents of Japanese rural communities: the JMS Cohort Study.	石川 鎮清	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:35-40	Determinants of negative white-coat effect in treated hypertensive patients: the Jichi Morning Hypertension Research (J-MORE) study.	甲谷 友幸 石川 譲治	循環器内科
J Clin Hypertens (Greenwich) 2009;11:422-425	A home blood pressure monitor equipped with a graphic function facilitates faster blood pressure control than the conventional home blood pressure monitor.	甲谷 友幸 石川 譲治	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:732-734	Earthquake and blood pressure.	甲谷 友幸 菊尾 七臣	循環器内科
Genes Cells 2009;14:69-77	Genome-wide histone methylation profile for heart failure.	野中 一夫 川 睦子 島田 和幸	循環器内科
Current Clinical Pharmacology 2009;4:126-131	Pharmacological characteristics and clinical applications of K201	簇 義仁	循環器内科
Circulation J 2009;73:1002-1007	Orthostatic hypertension: a measure of blood pressure variation for predicting cardiovascular risk.	菊尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:537-541	Obstructive sleep apnea syndrome and hypertension: mechanism of the linkage and 24-h blood pressure control.	菊尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:428-432	Obstructive sleep apnea syndrome and hypertension: ambulatory blood pressure.	菊尾 七臣	循環器内科
Clinical Challenges in Hypertension 2009;27-38	Treatment of early morning surges in blood pressure.	菊尾 七臣	循環器内科
Current Hypertension Reviews 2009;5:102-122	24-Hour blood pressure control—a predictor for clinical outcomes.	菊尾 七臣	循環器内科
Biomaterials 2009;30:574-582	Surface coating of bone marrow cells with N-acetylglucosamine for bone marrow implantation therapy.	高橋 将文	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:759-764	Nationwide survey of antihypertensive treatment for acute intracerebral hemorrhage in Japan.	菊尾 七臣	循環器内科

Circ J 2009;73:503-507	Elevation of plasma granzyme B levels after acute myocardial infarction -Correlation with left ventricular remodeling-	近藤 秀行 北條 行弘	循環器内科
Angiology 2009;60:42-45	Elevated osteopontin levels in patients with peripheral arterial diseases.	高橋 将文	循環器内科
Hypertension 2009;54:716-723	Differential effects between a calcium channel blocker and a diuretic when used in combination with angiotensin II receptor blocker on central aortic pressure in hypertensive patients.	松井 芳夫 江口 和男	循環器内科
J Hypertens 2009;27:712-720	Association between the morning-evening difference in home blood pressure and cardiac damage in untreated hypertensive patients.	松井 芳夫 江口 和男	循環器内科
J Epidemiol 2009;19:94-100	Risk charts illustrating the 10-year risk of myocardial infarction among residents of Japanese rural communities: the JMS Cohort Study.	石川 鎮清	循環器内科
Circ J 2009;73:1283-1290	Incremental effects of eicosapentaenoic acid on cardiovascular events in statin-treated patients with coronary artery disease.	島田 和幸	循環器内科
Transplantation 2009;87:1145-1154	Potential feasibility of early bone marrow cell injection into the spleen for creating functional hepatocytes.	高橋 将文	循環器内科
Atherosclerosis 2009;207:272-276	Prognostic value of plasma high-sensitivity C-reactive protein levels in Japanese patients with stable coronary artery disease: The Japan NCVC-Collaborative Inflammation Cohort (JNIC) Study.	荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:723-729	Insular cortex atrophy as an independent determinant of disrupted diurnal rhythm of ambulatory blood pressure in elderly hypertension.	永井 道明 星出 聡	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:1135	Blood pressure, aging, vascular disease, and their effects on brain volume.	永井 道明 荻尾 七臣	循環器内科
Gene Ther 2009;16:383-391	Systemic delivery of IL-10 by an AAV vector prevents vascular remodeling and end-organ damage in stroke-prone spontaneously hypertensive rat.	中野一 去川 睦子	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:3-107	The Japanese society of hypertension guidelines for the management of hypertension (JSH2009)	荻尾 七臣 島田 和幸	循環器内科
Hypertens Res 2009;32:319	Rationale, study design and implementation of the COLM study: the combination of OLMesartan and calcium channel blocker or diuretic in high-risk elderly hypertensive patients.	島田 和幸	循環器内科

Atherosclerosis 2009;206:535-539	Suppressive effect of EPA on the incidence of coronary events in hypercholesterolemia with impaired glucose metabolism: Sub-analysis of the Japan EPA Lipid Intervention Study (JELIS)	島田 和幸	循環器内科
Hum Gene Ther 2009;20:1013-1021	Scalable purification of adeno-associated virus serotype 1 (AAV1) and AAV8 vectors, using dual ion-exchange adsorptive membranes.	中野一 去川陸子	循環器内科
J Epidemiol 2009;19:107-115	Amount and frequency of alcohol consumption and all-cause mortality in a Japanese population: the JMS Cohort Study.	石川 鎮清	循環器内科
Cardiovasc Res 2009;81:169-177	Bone marrow CXCR4 induction by cultivation enhances therapeutic angiogenesis.	高橋 将文	循環器内科
J Hypertens 2009;27:1252-1257	Adrenergic blockade improved insulin resistance in patients with morning hypertension: the Japan Morning Surge-1 Study.	柴崎 誠一 江口 和男	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:611-616	Association of an abnormal blood glucose level and morning blood pressure surge in elderly subjects with hypertension.	志水 元洋 石川 譲治	循環器内科
Pacing Clinical Electrophysiology 2009;32:e21-24	A case with catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia unmasked after successful ablation of atrial tachycardias from pulmonary veins.	旗 義仁	循環器内科
Am J Physiol Endocrinol Metb 2009;297:E1115-1124	Effects of hormone-sensitive lipase-disruption on cardiac energy metabolism in response to fasting and refeeding.	高橋 将文	循環器内科
Curr Pharm Design 2009;15:2759	Therapeutic angiogenesis and regeneration in cardiovascular diseases.	高橋 将文	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol 2009;10:1407-1408	Genetic susceptibility to restenosis: Role of bone marrow cells and inflammatory response.	高橋 将文	循環器内科
Curr Pharm Design 2009;15:2778-2783	Therapeutic neovascularization by the implantation of autologous mononuclear cells in patients with connective tissue diseases.	高橋 将文	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:763-769	Soluble tumor necrosis factor receptor 1 level is associated with left ventricular hypertrophy: the northern Manhattan study.	江口 和男	循環器内科
Stroke 2009;40:3591-3595	Routine use of intravenous low-dose recombinant tissue plasminogen activator in Japanese patients: general outcomes and prognostic factors from the SAMURAI register.	苅尾 七臣 石川 鎮清	循環器内科

Arch Intern Med 2009;169:56-61	Prospective study on occupational stress and risk of stroke.	荻尾 七臣 石川 鎮清	循環器内科
Am J Hypertens 2009;22:1177-1182	Association between morning blood pressure surge and cardiovascular remodeling in treated elderly hypertensive subjects.	矢野裕一郎 星出 聡	循環器内科
Hypertension 2009;53:e1	Possible difference in the sympathetic activation on extreme dippers with or without exaggerated morning surge.	矢野裕一郎 荻尾 七臣	循環器内科
Atherosclerosis 2009;204:590-594	Plasma des-acyl ghrelin, but not plasma HMW adiponectin, is a useful cardiometabolic marker for predicting atherosclerosis in elderly hypertensive patients.	矢野裕一郎 島田 和幸	循環器内科
心臓 2009;41 No.10:1131-1135	原発性抗リン脂質抗体症候群を基礎疾患とした急性肺血栓塞栓症に、ヘパリン起因性血小板減少症が合併した一例	西村 芳興 新保 昌久	循環器内科

計 58

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法開発のための評価法の開発	草野 英二	腎臓内科学部門	800,000	補委 厚生労働省
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究	湯村 和子	腎臓内科学部門	1,300,000	補委 厚生労働省
腎不全における副甲状腺局所および全身的なkioto遺伝子導入の効果についての研究	椎崎 和弘	腎臓内科学部門	1,500,000	補委 腎不全病態研究助成
				補委

計 3

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
腎と透析66(別冊)腹膜透析2009:260-262, 2009	新しい動物モデルを用いた被嚢膜硬化症の解析	平原 一郎、他	腎臓内科学部門
Nephrology Frontier(増刊):114-119, 2009	慢性糸球体腎炎症例の糖質コルチコイド誘発性骨粗鬆症(GIO)における、オステオプロテジェリン(OPG)の治療的変動(第一報)	伊藤 千春、他	腎臓内科学部門
臨床透析25(5):649-654, 2009	ネフローゼ症候群・高血圧を呈した、血液透析導入患者の1例	伊藤 千春、他	腎臓内科学部門
救急医学33(4):465-468, 2009	シンナー経口摂取に対する血液透析	伊澤 祥光、他	腎臓内科学部門
栃木県医学会会誌39:85-87, 2009	栃木県立学校における学校腎臓検診について(平成20年度)	加納 健一、他	腎臓内科学部門
日腎会誌51(5):569-575, 2009	両側水腎症を伴ったループス腎炎, ループス腸炎の1例	加藤 真紀、他	腎臓内科学部門
日腎会誌51(2):138-144, 2009	肺癌を伴ったネフローゼ症候群の1例検例	小森 さと子、他	腎臓内科学部門
透析会誌42(8):587-593, 2009	偽性肺塞栓症によると思われた呼吸器症状が診断の契機となったヘパリン起因性血小板減少症の1例	小藤田 篤、他	腎臓内科学部門
日腎会誌51(2):145-149, 2009	IgA-λ型M蛋白血症を伴いネフローゼ症候群を呈した紫斑病性腎炎の1例	目黒 大志、他	腎臓内科学部門
腎と透析66(別冊)腎不全外科2009:59-61, 2009	摘出腺重量からみた腎性副甲状腺機能亢進症の検討	宮本 直志、他	腎臓内科学部門
透析会誌42(7):507-514, 2009	透析患者の皮膚掻痒症に対する塩酸フェキソフェナジンの有効性の検討～かゆみとQOL～	斎藤 修、他	腎臓内科学部門
日腎会誌51(4):476-483, 2009	血液透析患者におけるメタボリックシンドロームと脈波伝播速度の検討～生体電気インピーダンス法による肥満診断と動脈硬化の新たな危険因子～	佐々木 信博、他	腎臓内科学部門

臨床体液36:25-28, 2009	副甲状腺ホルモン関連蛋白質高値を示し、著明な高Ca血症と急性腎不全を合併した成人T細胞白血病の1症例	高橋 秀明、他	腎臓内科学部門
腎と透析67(別冊)ハイパフォーマンスメンブレ 09:179-184, 2009	透析患者における透析効率と栄養状態の検討	上野 幸司、他	腎臓内科学部門
Am J Kidney Dis 54(3): 459-467, 2009.	CKD-KD Study Group. Effect of a carbonaceous oral adsorbent on the progression of CKD: a multicenter, randomized, controlled trial.	Akizawa, T、他	腎臓内科学部門
Am J Physiol Renal Physiol 297(2):F350-F361,2009.	Differential regulation of the renal sodium-phosphate cotransporters NaPi-IIa, NaPi-IIc, and Pit-2 in dietary potassium deficiency.	Breusegem, SY、他	腎臓内科学部門
Ther Apher Dial 3(3):240,2009.	Prognostic study of cardiac events in Japanese high risk hemodialysis patients using I-BMIPP-SPECT : study design.	Hasebe, N、他	腎臓内科学部門
Nephrol Dial Transplant 24(2):437-447,2009.	Methylglyoxal induces preitoneal thickening by mesenchymal-like mesothelial cells in rats.	Hirahara, I、他	腎臓内科学部門
Int J Biol Sci 5(4):304-340,2009.	Vesnarinone represses the fibrotic changes in murine lung injury induced by bleomycin.	Inege, M、他	腎臓内科学部門
Clin Pharmacol Ther 86(2):154-159, 2009	Hypertension induced by erythropoietin has a correlation with truncated erythropoietin receptor mRNA in endothelial progenitor cells of hemodialysis patients.	Ioka, T、他	腎臓内科学部門
J Exp Med 218(1):63-71, 2009	TGF-beta inhibits vascular sprouting through TGF-beta type I receptor in the mouse embryonic aorta.	Ito, C、他	腎臓内科学部門
Kidney Int 75(11): 1173-1183, 2009.	Transactivation of RON receptor tyrosine kinase by interaction with PDGF receptor beta during steady-state growth of human mesangial cells.	Kobayashi, T、他	腎臓内科学部門
J Obstet Gynaecol Res 35(6):1109-1114, 2009	Pregnancy complicated with Alport syndrome: A good obstetric outcome and failure to diagnose an infant born to a mother with Alport syndrome by umbilical cord immunofluorescence staining.	Matsubara, S、他	腎臓内科学部門
Clin Exp Nephrol 13(5): 460-466, 2009	Tonsillectomy and steroid pulse(TSP) therapy for patients with IgA nephropathy: a nationwide survey of TSP therapy in Japan and an analysis of the predictive factors for resistance to TSP therapy.	Miura, N、他	腎臓内科学部門
Kidney Int 75(1):25-30,2009	Basolateral Na ⁺ /H ⁺ exchange maintains potassium secretion during diminished sodium transport in the rabbit cortical collecting duct.	Muto, S、他	腎臓内科学部門
Nephron Clin Pract 113(3):c132-c139,2009	J-DOPPS Investigators Group. Beta-blocker prescription and outcome in hemodialysis patients from the Japan Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study.	Nakao, K、他	腎臓内科学部門
Am J Kidney Dis 54(4):764-769,2009.	Metabolic and hemodynamic advantages of an acetate-free citrate dialysate in a uremic case of congenital methylmalonic acidemia.	Saito, T、他	腎臓内科学部門
Nephron Physiol. 111(4):59-66,2009	Regulation of fibroblast growth factor 23 production in bone in uremic rats.	Saji, F、他	腎臓内科学部門
Bone 45(5):964-971,2009	Improvement of impaired calcium and skeletal homeostasis in vitamin D receptor knockout mice by a high dose of calcitriol and maxacacitol.	Shiizaki, K、他	腎臓内科学部門
Clin Exp Nephrol 13(5):447-451,2009	Physicians make different decisions from nephrologists at serum creatinine 2.0 mg/dl.	Tamba, K、他	腎臓内科学部門
Intern Med 48(21):1875-1880,2009	Antiphospholipid antibodies and renal outcomes in patients with lupus nephritis.	Tsuruta, Y、他	腎臓内科学部門
Pain Med 10(5):883-889,2009	Depressive symptoms predict the subsequent risk of bodily pain in dialysis patients : Japan Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study.	Yamamoto, Y、他	腎臓内科学部門
Nephron Clin Pract 113(3):c191-c197,2009	Impact of early referral to nephrologist on mental health among hemodialysis patients : a Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study(DOPPS).	Yokoyama, Y、他	腎臓内科学部門

計 33

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
移植	腎移植臨床登録集計報告(2009)-1 2008年実施症例の集計報告(1)	八木澤 隆	腎臓外科
移植	腎移植臨床登録集計報告(2009)-2 2008年実施症例の集計報告(2)	八木澤 隆	腎臓外科

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
FOXP2遺伝子改変マウスを用いた脳構造機能の進化と言語獲得の分子基盤の研究	桃井 真里子	小児科学	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究
自閉性障害の病態に関与する遺伝子不活性化異常の解析	中島 尚美	小児科学	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究B
小児血管腫進展における血管内皮前駆細胞とVEGF, VEGF-Cの役割の解明	中村 幸恵	小児科学	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究B
新生児における甲状腺機能と消化管ホルモンの関係の解析	川又 竜	小児科学	700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究B
変異蛋白が誘導するストレスを原因とする神経(精神)筋疾患に関する治療候補化合物の開発に関する研究	桃井 真里子	小児科学	1,999,265	補 委 厚生省((財)ヒューマンサイエンス振興財団)政策創薬総合研究事業
治験の実施に関する研究[L-アルギニン]	森 雅人	小児科学	1,000,000	補 委 厚生省((社)日本医師会治験推進センター)医療技術実用化総合研究事業:治験推進研究
「周産期母子医療センターネットワーク」による医療の質の評価と、フォローアップ・介入による改善・向上に関する研究	河野 由美	小児科学	3,400,000	補 委 厚生労働省子ども家庭総合研究事業
日本人脆弱X症候群の実態調査研究	杉江 秀夫	小児科学	1,500,000	補 委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業
小児行動の二次元尺度化に基づく発達支援策の有効性定量評価に関する研究	杉江 秀夫	小児科学	1,500,000	補 委 厚生労働省障害者保健福祉総合研究事業
筋ジストロフィーおよびその関連疾患の分子病態解明、診断法確立と薬物治療の開発に関する研究	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補 委 厚生省(国立精神神経センター)精神・神経疾患研究委託費
先天性代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補 委 厚生省(国立成育医療センター)成育医療研究委託事業
乳児ランゲルハンス細胞組織球症の病態解明と診療研究	森本 哲	小児科学	20,000,000	補 委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業
乳児ランゲルハンス細胞組織球症の病態解明と診療研究	福田 冬季子	小児科学	500,000	補 委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業

計 13

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Int.	Macrophage inflammatory protein-1 β and interleukin-8 associated with idiopathic steroid-sensitive nephrotic syndrome	金井 孝裕	小児科学
Cytokine	Selective excretion of anti-inflammatory cytokine Interleukin-10 in a superantigen-inducing neonatal infectious disease	高橋 尚人	小児科学
小児科臨床	剣道により発症したexertional myohemoglobinuriaの男子例	熊谷 秀規	小児科学
Am.j.Kidney Dis.	Metabolic Hemodynamic Advantages of an Acetate-Free Citrate Dialysate in a Uremic Case of Congenital Methylmalonic Acidemia	齋藤 貴志	小児科学
Microbiol Immunol	Change of specific T cells in an emerging neonatal infectious disease induced by a bacterial superantigen	高橋 尚人	小児科学

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳血管障害患者の機能回復過程における脳機能計測および解析	渡辺英寿	脳神経外科	1,248,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
乳幼児破局てんかんの実態と治療指針に関する研究	渡辺英寿	脳神経外科	1,500,000	補委 厚生労働省
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	渡辺英寿	脳神経外科	650,000	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 3

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神・神経疾患研究委託費(19指-6)総括研究報告書 pp.115-124	成人てんかん外科治療法及び術前・術後評価法の標準化に関する研究：わが国におけるてんかん外科の現状	渡辺英寿	脳神経外科
脳卒中 31:483-490, 2009	光トポグラフィーによる脳虚血診断—酸素吸入法の開発—	海老原彰	脳神経外科
臨床神経生理学37:77-84, 2009	酸素吸入法を用いた光トポグラフィーによる脳虚血側診断	海老原彰	脳神経外科

計 3

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Neurovascular Therapy 3:174-180	Onyx transarterial embolization of dural arteriovenous fistula for failed N-buryl cyanoacrylate treatment: case report	Katsunari Namba	血管内治療部
Interventional Neuroradiology 15:67-72	Use of Dyna CT Angiography in Neuroendovascular Decision Making	Katsunari Namba	血管内治療部

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
後縦靭帯骨化症に対する術中超音波診断とコンピュータ支援手術	星野雄一	整形外科	100万円	補委 厚生労働科学研究費補助金
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The journal of the Japanese society for spine surgery and related research	Intraoperative ultrasonographic evaluation of posterior ecompression by laminoplasty in patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	星地亜都司	整形外科

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳児ランゲルハンス細胞組織球症の病態解明と診療研究	森本哲、吉川一郎	小児整形外科	85万円	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児整形外科学会誌、18:143-146, 2009	小児の血行性踵骨骨髓炎の2例	渡邊英明、他	小児整形外科
栃木整形外科医会誌、23:2-4, 2009	頸椎症を合併した“脊髄損傷後脊髄空洞症”に対するシャント術—偽性髄膜瘤をきたした1例—	佐竹哲典、他	小児整形外科
関東整災誌 40:15-21, 2009	上腕骨近位端骨折に対する最小侵襲プレート骨接合術	松村福広、他	小児整形外科
Eur J Orthop Surg Traumatol 19:303-307, 2009	Outcome of treatment for congenital muscular torticollis: a study on ages for treatment, treatment methods, and postoperative therapy.	Masahide Amemiya, 他	小児整形外科
Eur J Orthop Surg Traumatol 19:255-259, 2009	Outcomes of open reduction by Ludloff's method in the treatment of congenital dislocation of the hip : a report of nine cases	Masahide Amemiya, 他	小児整形外科

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規血管新生調節因子バソヒピンによる婦人性器がん分子標的・遺伝子治療に関する研究	嵯峨 泰	産科婦人科学	1,690,000	補 文部省科学研究補助金 基盤研究 (C)
精子受精能獲得におけるリン酸化・脱リン酸化メカニズムの解明	鈴木達也	産科婦人科学	1,170,000	補 文部省科学研究補助金 若手研究 (B)
絨毛細胞内Hemo oxygenase-1制御系の解明並びに胎盤免疫染色法の開発	鈴木寛正	産科婦人科学	1,690,000	補 文部省科学研究補助金 若手研究 (B)
クラミジア熱ショックタンパク質の卵管炎病態形成への関与	平野由紀	産科婦人科学	1,430,000	補 文部省科学研究補助金 基盤研究 (C)
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 4

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Reproduction 139(5):847-56	Regulation of hyperactivation by PP2A on hamster spermatozoa	鈴木達也	産科婦人科学

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん特定：アデノ随伴ウイルスベクターの開発とそのがん治療への応用	小澤敬也	血液学部門	13,400,000	補委 文部科学省
基盤B：骨髄由来の間葉系幹細胞を利用した遺伝子治療法の開発	小澤敬也	血液学部門	6,630,000	補委 日本学術振興会
難治性疾患克服研究事業：特発性造血障害に関する調査研究	小澤敬也	血液学部門	65,000,000	補委 厚生労働省
免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業：間葉系幹細胞を利用した新しい造血幹細胞移植技術の開発に関する研究	小澤敬也	血液学部門	5,884,000	補委 厚生労働省
難治性疾患克服研究事業：成人における慢性好中球減少症（周期性好中球減少症、慢性本態性好中球減少症、自己免疫性好中球減少症など）に関する調査研究	永井 正	血液学部門	3,000,000	補委 厚生労働省
基盤C：IL-21抑制によるGVHD制御のメカニズム	尾崎勝俊	血液学部門	1,950,000	補委 日本学術振興会
若手B：cDNA発現レトロウイルスライブラリーを用いたT細胞性リンパ腫原因遺伝子の同定	藤原慎一郎	血液学部門	1,700,000	補委 文部科学省
				補委

計 7

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern. Med.	Predictive factors of response and survival following chemotherapy treatment in acute myeloid leukemia progression from myelodysplastic syndrome.	Ozawa, K., et al.	血液学部門
Int. J. Hematol.	Lenalidomide is active in Japanese patients with symptomatic anemia in low- or intermediate-1 risk myelodysplastic syndromes with a deletion 5q abnormality.	Ozawa, K., et al.	血液学部門
J. Gene Med.	Liver-restricted expression of the canine factor VIII gene facilitates prevention of inhibitor formation in factor VIII-deficient mice.	Ozawa, K., et al.	血液学部門
Biosci. Biotechnol. Biochem.	Generation of adeno-associated virus vector enabling functional expression of oxytocin receptor and fluorescence marker genes using the human eIF4G internal ribosome entry site element.	Ozawa, K., et al.	血液学部門

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
後期緑内障における自動車運転と視野障害についての他施設共同研究	青木由紀	眼科学	1,560,000	補委 文部科学省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科手術22:235-239	Torsional水晶体乳化吸引術と従来の水晶体乳化吸引術の比較検討	青木真祐	眼科学
眼科臨床紀要2:985	自治医科大学附属病院における未熟児網膜症の検討	青木真祐	眼科学
眼科手術22:394-496	局所的強膜内陥術症例の波面収差解析による検討	檜垣正彦	眼科学
眼科手術22:535-537	AquaLaseによる水晶体乳化吸引術	茨木信博	眼科学
日本視能訓練士協会誌38:191-196	眼鏡内組み込みプリズムと膜プリズムの視機能の比較	平林里恵	眼科学
眼科臨床紀要2:920-923	ロービジョン外来受診患者の読書能力と読み下記の不自由さ	熊谷知子	眼科学
あたらしい眼科26:127-131	ロービジョン外来受診患者の読書能力	牧野伸二	眼科学
日本視能訓練士協会誌38:115-121	乳児内斜視をもっと知ろう。乳児内斜視に対するプリズム治療	牧野伸二	眼科学
眼科臨床紀要2:616-619	妊娠37週に発症し、分娩遂行後にステロイドパルス療法を行ったVogt-小柳-原田病の1例	大河原百合子	眼科学
眼科臨床紀要2:379	当院におけるbevacizumab(アバスタチン)の使用経験	杉紀人	眼科学

計 10

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞シートによる関節治療を 目指した臨床研究	瀬尾憲正	麻酔科学	5,000,000円	補委 再生医療実用化 研究事業
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
麻酔科学レクチャー 1 (3):626-630	【ここがポイント!気道確保Q&A】気管挿管用器具 非直視下挿管器具 エアトラックとエアウェイスコー プ	平林由広	麻酔科学
医学のあゆみ228(9): 925-926	麻酔科学 気管挿管の新潮流 間接視認型喉頭鏡	平林由広	麻酔科学
日本臨床麻酔学会誌29 (5)620-626	術後鎮痛におけるこれからの選択 末梢神経ブロッ クを活用した術後鎮痛	堀田訓久	麻酔科学
麻酔科学レクチャー 1 (2):631-535	【最新!麻酔のテクニック 器材と技術の完全マス ター】ペインクリニック エピドラスコピー	五十嵐孝	麻酔科学
PAIN RESEARCH 24 (2):45-46	低侵襲治療法 エピドラスコピー	五十嵐孝	麻酔科学
産婦人科の実際58(5): 671-677	【帝王切開術を見直す】帝王切開時の子宮弛緩・ 収縮法	井上荘一郎	麻酔科学
Pharmacoanesthesiology 20:43-48	術後鎮痛総論 —これからの術後鎮痛とレボプロピバ カインの位置づけ—	井上荘一郎	麻酔科学
麻酔58(8):1036-1038	癒着胎盤により大量出血を来した子宮内容除去術 の麻酔経験	古宮かおり	麻酔科学
LISA 16(9):913	Letter to the Editor 喉頭展開 気管と食道の鑑別 は案外難しい	町田匡成	麻酔科学

日赤医学 59(2):475-478	手術室の資源時間の検討(1)	茂木康一	麻酔科学
日赤医学 59(2):479-484	手術室の資源時間の検討(2)	茂木康一	麻酔科学
日赤医学 59(2):485-488	手術室の資源時間の検討(3)	茂木康一	麻酔科学
日赤医学 59(2):489-492	Shy- Drager症候群に対する麻酔	茂木康一	麻酔科学
Therapeutic Research 30(5):619-621	術後第17病日に発症した重症肺塞栓症の経験	岡田 修	麻酔科学
日本小児麻酔学会誌15(1):130-132	新生児マルファン症候群を伴った小腸閉鎖症の麻酔経験	篠原貴子	麻酔科学
Medicina 46(5):718-720	【肺血拴塞栓症 見逃さず迅速かつ的確な対応を】急性肺血拴塞栓症の病態を理解する 危険因子の把握が重要 急性肺血拴塞栓症の外科的因子・内科的因子	瀬尾憲正	麻酔科学
臨床麻酔33(臨増):465-477	医療事故と医療事故調査委員会	瀬尾憲正	麻酔科学
鍼灸Osaka 25(3):253-256	【鍼はなぜ効くか? 基礎研究の現状】鍼治療の有用性 脳内細胞新生と疼痛	瀬尾憲正	麻酔科学
日本臨床麻酔学会誌 29(7)890-896	診療行為に関連した死亡に係る死因究明等の在り方に関する検討会に対する日本麻酔科学会事故調WGの活動について	瀬尾憲正	麻酔科学
医療安全とVTE No.8:10-11	「日本版100Kキャンペーン—医療安全全国共同行動—いのちをまもるパートナーズ」と周術期肺塞栓症予防	瀬尾憲正	麻酔科学
麻酔 58(11):1465-1468	自治医科大学附属病院中央手術部における大量出血症例の検討	平 幸輝	麻酔科学
麻酔 58(3)349-353	鍼治療が有効と考えられた脳腫瘍術後遷延性意識障害の1症例	玉井秀明	麻酔科学
救急・集中治療 21(3-4)335-342	【鎮静・鎮痛管理Q&A 日本呼吸療法医学会のガイドラインを踏まえて】患者背景からみた鎮静・鎮痛小児への鎮静薬・鎮痛薬の使用法	多賀直行	麻酔科学
麻酔科学レクチャー 1(1):9-14	【麻酔の現況と展望 研修医と指導医のための質問317】領域別の麻酔 小児の心臓麻酔	多賀直行	麻酔科学
麻酔 58(5):578-583	【各種麻酔中の危機管理】小児麻酔	竹内 護	麻酔科学
Minerva Anesthesiologica 75:488-503	A comparison of morphine concentrations for patient-controlled epidural analgesia following gynecological surgery	Inoue S	麻酔科学
Reg Anesth Pain Med 34:79	Radiation Exposure and Epiduroscopy, reply to Dr. Heavner	Komiya K	麻酔科学
Paediatr Anaesth 19(9):915-6	Tracheal intubation using pediatric Airtraq optical laryngoscope in a patient with Treacher Collins syndrome	Hirabayashi Y	麻酔科学
J Anesth:23(1):172-3	Airtraq laryngoscope has an advantage over Macintosh laryngoscope for nasotracheal intubation by novice laryngoscopists	Hirabayashi Y	麻酔科学
Emerg Med J 26(2):112-3	Airtraq optical laryngoscope: tracheal intubation by novice laryngoscopists	Hirabayashi Y	麻酔科学
J Clin Anesth 21(4):268-71	Tracheal intubation by non-anesthesia residents using the Pentax-AWS airway scope and Macintosh laryngoscope	Hirabayashi Y	麻酔科学
Emerg Med J 26(2):112-3	Airtraq optical laryngoscope: tracheal intubation by novice laryngoscopists	Hirabayashi Y	麻酔科学
J Am Assoc Lab Anim Sci 48:33-8	The effects of fasting and general anesthesia on serum chemistries in KCG miniature pigs	Tanaka H	麻酔科学

計 33

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補委	

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神神経学雑誌 111:335-346	統合失調症の現在 進化論に注目して	加藤 敏	精神医学
日本社会精神医学会 雑誌 18:105-111	日本に在住する日系ブラジル人児童・生徒のメンタルヘルスの現状 —ブラジル在住の日系人児童・生徒との比較調査より—	近藤 州	精神医学
臨床精神薬理 12:71-89	olanzapine治療による統合失調症患者のヘルスアウトカム調査	倉持素樹	精神医学
臨床精神薬理 12:1179-1197	統合失調症急性期に対するolanzapineの安全性と有効性	倉持素樹	精神医学
臨床精神薬理 12:2507-2519	急性期統合失調症におけるolanzapineと他の非定型抗精神病薬との二重盲検比較試験	倉持素樹	精神医学
精神神経学雑誌 111:1021-1040	症例Schreberの診断にみる力動的精神病論の再検討	松本卓也	精神医学
こころと文化 8:51-61	抗精神病薬を服用する統合失調症者の語り：精神病者の「喪失」と「回復」	野口正行	精神医学
精神科治療学 24:741-746	「心の問題」として見逃されたナルコレプシーの1例	松本健二	精神医学
精神科治療学 24:555-562	妊娠中絶によるうつ病・不安性障害（中絶後症候群）	中村曜子	精神医学
東京精神医学会誌 27:6-10	偽発作を伴った解離性障害との鑑別が困難であった側頭葉てんかんの1例	山内芳樹	精神医学
精神神経学雑誌 111:250-271	高齢初発統合失調症の臨床精神病理学的研究—大学病院精神科病棟入院患者を中心に—	安田 学	精神医学
Pain Research 24:17-22	腰痛転快後の自殺関連症状—うつ病患者を対象にして	吉田勝也	精神医学
精神神経学雑誌 111:615-627	気分障害で出現する腰痛の臨床精神病理学的研究	吉田勝也	精神医学
Psychiat Clin Neurosc 63: 773-774	Menstrual catatonia.	Kobayashi, T.	精神医学
Psychogeriatrics 9: 143-146	Early symptoms of Creutzfeldt-Jacob disease mimicking alcohol dependence.	Kobayashi, T.	精神医学
Psychiat Clin Neurosci 63: 428-429	Malignant catatonia accompanied by high urinary catecholamine levels mimicking the presentation of pheochromocytoma.	Nisijima, K.	精神医学

計 16

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己免疫疾患に関する調査研究	岡崎仁昭	アレルギー膠原病学	180万円	補委 厚生労働科学研究費補助金
難治性血管炎への血管再生医療に関する多施設共同研究	簗田清次	アレルギー膠原病学	220万円	補委 厚生労働科学研究費補助金
免疫アレルギー疾患の予防・治療法の開発及び確立に関する臨床研究	簗田清次	アレルギー膠原病学	300万円	補委 厚生労働科学研究費補助金
トキシコゲノミクス研究の臨床への展開	簗田清次	アレルギー膠原病学	125万円	補委 厚生労働科学研究費補助金
				補委

計 4

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Rheumatol Int 29:1261-2	Dermatomyositis associated with thyroid cancer: a paraneoplastic syndrome?.	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学
Clin Rheumatol 28:485-7	Glucocorticoid and cyclosporine refractory adult onset Still's disease successfully treated with tocilizumab.	松本和子	アレルギー膠原病学
Rheumatol Int 29:1327-30	Prognostic indicators related to death in patients with pneumocystis pneumonia associated with collagen vascular diseases.	青木葉子	アレルギー膠原病学
Rheumatol Int 29(7):817-20	Protein-losing gastroenteropathy associated with primary Sjögren's syndrome: a characteristic oriental variant.	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学
J Clin Rheumatol 15(4):213	Treatment of rheumatoid arthritis with tacrolimus: tacrolimus-induced urticaria.	釜田康行	アレルギー膠原病学
J Rheumatol 36(9):2133-4	Destructive arthropathy associated with dermatomyositis sine myositis positive for anti-Jo-1 and anti-cyclic citrullinated peptide antibodies.	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学
J Rheumatol 36:1347	Increased adiponectin levels in women with rheumatoid arthritis after etanercept treatment. Authors' reply.	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学
Lupus 18:1124	Strong correlation in the serum levels of IgM rheumatoid factor and IgM anti-Chlamydia pneumoniae antibody.	岩本雅弘	アレルギー膠原病学
Jpn. J. Clin. Immunol 32(4):274-8	Clinical features in patients with polymyalgia rheumatica.	青木葉子	アレルギー膠原病学
Jichi Medical University Journal 32:63-9	Dramatic improvement of psoriatic arthritis by infliximab in a patient refractory to conventional therapy presenting with elevated serum β -D-glucan.	松山 泰	アレルギー膠原病学

計 10

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
感染症学雑誌83(臨増):99-100	感染症をどのように学ぶか 若手へのsuggestion アメリカでの経験を含めて 私の米国での感染症科研修	矢野晴美	感染症科
総合診療医学14:35	戦略的な発熱の鑑別診断	矢野晴美	感染症科
Int J Hematol 89(2):249-250	Maintenance and preemptive therapy with ganciclovir for cytomegalovirus colitis with extremely high antigenemia in adult T-cell leukemia.	外島正樹	感染症科
Hematology 14(3):133-138	Correlation between flow cytometric identification of CD33-positive cells and morphological evaluation of myeloblasts in bone marrow of patients with acute myeloblastic leukemia.	外島正樹	感染症科
Leuk Lymphoma 50(2):290-293	Prediction of response to imatinib in patients with chronic myelogenous leukemia by flow cytometric analysis of bone marrow blastic cell phenotypes.	外島正樹	感染症科
Rinsho Ketsueki 50(11):1626-1629	Hematopoietic recovery after administration of deferasirox for transfusional iron overload in a case of myelodysplastic syndrome.	外島正樹	感染症科
日本エイズ学会誌 11(1):45-49	HIV医療における派遣カウンセリング制度の有効利用についての試み 栃木方式の提案	外島正樹	感染症科
日本エイズ学会誌 11(4):562	在宅療養支援診療所との連携により在宅療養が可能であった一例	外島正樹	感染症科
日本エイズ学会誌 11(4):531	栃木県内のSTD診療におけるHIV抗体検査の普及について	外島正樹	感染症科
腎と透析67(別冊):179-184	透析患者における透析効率と栄養状態の検討	吉村章	感染制御部
日本血液浄化技術学会大会誌17(1):73-76	体液量変化と透析効率について-各種Kt/V値からの考察	吉村章	感染制御部
日本血液浄化技術学会大会誌17(1):63-67	透析患者における透析効率と栄養状態の検討	吉村章	感染制御部
臨床検査53: 501-506	Bacillus属によるリネン汚染を解析するための培地の比較検討	笹原鉄平	感染制御部
環境感染24: 312-318	病院タオルのBacillus cereus汚染を測定する方法の比較検討	笹原鉄平	感染制御部

計 14

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
心身医学49:987-993, 2009	ライフステージからみたうつ病—その診断と治療—	阿部隆明	子どもの心の診療科
栃木精神医学29:18-23, 2009	独語を伴う強迫性障害の一例	佐藤和繁	子どもの心の診療科
栃木精神医学29:40-47, 2009	心因性の昏迷状態との鑑別に苦慮した神経梅毒の1例	星野美幸	子どもの心の診療科

計 3

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ICUとCCU	肝膿瘍から進展した化膿性心膜炎に対しブラッドアクセスカテーテルを用いた持続洗浄が奏効した1例.	田中進一郎	集中治療医学部門
日本集中治療医学会雑誌	生後17日目に生体肝移植術を施行された新生児劇症肝不全の1例.	田中進一郎	集中治療医学部門

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
根治切除不能な頭頸部がんに対するS-1+CDDPを同時併用する化学放射線療法第Ⅱ相試験	藤井 博文	臨床腫瘍部	800,000	補 委	厚生労働省
消化器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	藤井 博文	臨床腫瘍部	1,000,000	補 委	厚生労働省
免疫抑制薬、抗悪性腫瘍薬によるB型肝炎ウイルス再活性化の実態解明と対策方法の確立	藤井 博文	臨床腫瘍部	500,000	補 委	厚生労働省
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計 3

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門

計 0

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Esophagus 6: 177-181, 2009	A clinicopathological study of basaloid squamous carcinoma of the esophagus.	Saito S Nakazawa M.	放射線腫瘍部
Esophagus 6: 189-195, 2009	Therapeutic effectiveness of chemoradiotherapy for carcinosarcoma of the esophagus: two case reports and a review of the literature.	Zuiki T Nakazawa M	放射線腫瘍部

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Orthopaedics	Postoperative Lateral Ligamentous Laxity Diminishes with Time Postoperative Lateral Ligamentous Laxity Diminishes with Time After TKA in the Varus Knee	Sekiya H	リハビリテーション
東日本整形災害外科	80歳以上の高齢者でのTKA術後の血液データ変化は70歳未満、70歳代と同じか？	関矢 仁	リハビリテーション
日本人工関節学会会誌	人工膝関節術での軟部バランス	関矢 仁	リハビリテーション
運動療法と物理療法	人工膝関節置換術後の10m歩行時間と下肢筋力	関矢 仁	リハビリテーション
膝	内反変形膝TKAでの内側軟部組織解離が屈曲位・伸展位でのバランスに与える影響	関矢 仁	リハビリテーション
日本骨関節感染症学会	感染人工関節に好適な抗菌剤セメントスペーサの作成	関矢 仁	リハビリテーション

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med, vol. 48, p.1629-1633.	Predictive factors of response and survival following chemotherapy treatment in acute myeloid leukemia progression from myelodysplastic syndrome.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Leuk Lymphoma, vol. 50, p.1190-1197.	Preferential expression of phosphatidylglucoside along neutrophil differentiation pathway.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Hematology, vol. 14, p.133-138.	Correlation between flow cytometric identification of CD33-positive cells and morphological evaluation of myeloblasts in bone marrow of patients with acute myeloblastic leukemia.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
臨床血液, vol. 50, p.1626-1629.	輸血後鉄過剰症に対するICL670(deferasirox)投与により造血能の回復が得られた骨髓異形成症候群.	室井一男	輸血・細胞移植部
日本輸血細胞治療学会誌, vol. 55, p.589-595.	急性白血病の寛解導入における血小板輸血トリガー値の検討.	室井一男	輸血・細胞移植部

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mod Pathol	Subepithelial myofibroblast in lung adenocarcinoma: a histologic indicator of excellent	松原大祐	病理診断部
Esophagus	A clinicopathologic study of basaloid squamous carcinoma of the esophagus.	斉藤心	病理診断部

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 0

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
移植44(5), 438-445, 2009.	小児生体肝移植後胆管合併症と治療.	川野陽一	移植外科
日本臨床外科学会雑誌70(5): 1291-1296, 2009.	高サイログロブリン血症を契機に発見された甲状腺濾胞癌異時性多発骨転移の1例.	眞田幸弘	移植外科
Transpl Int. 2009 Dec;22(12):1151-8. Epub 2009 Aug 3.	Diagnosis and treatment of pediatric patients with late-onset portal vein stenosis after living donor liver transplantation.	Kawano Y	移植外科
Pediatr Transplant. 13:194-199, 2009.	Lymphocytotoxic crossmatch in pediatric living donor liver transplantation.	Saito T	移植外科
Transplant Proc. 41:4214-4219, 2009.	Living donor liver transplantation for congenital absence of the portal vein.	Sanada Y	移植外科

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トキシコゲノミクス研究の臨床への展開	草間 幹夫	歯科口腔外科	1,200,000	補委 厚生科学研究費補助金
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
口腔腫瘍 21(4):218-224, 2009年12月	当科における口腔癌患者の栄養状態の実態と栄養管理への取り組み	伊藤弘人、他	歯科口腔外科
日口粘膜誌 15(1):43-47, 2009年6月	形質細胞性白血病患者の下唇に生じた開口部形質細胞症の1例	神部芳則、他	歯科口腔外科
日口粘膜誌 15(2):81-87 2009年12月	Orofacial granulomatosisの2例	河瑠珠、他	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 61:63-66 2009年4月	外傷により喪失した上顎前歯に対し骨移植後インプラント埋入した1例	草間幹夫、他	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 61:63-66 2009年4月	抗不安薬および抗うつ薬が奏効した口腔粘膜疾患症例の検討	草間幹夫、他	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 61:55-58 2009年4月	舌根に生じた筋上皮腫の1例	草間幹夫、他	歯科口腔外科

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒトメラノーマの脳転移に特徴的な分子群の同定とその機能解析	佐藤 篤子	皮膚科学	2,730,000円	補委 文部科学省 科研費
稀少難知性皮膚疾患に関する調査研究	小宮根 真弓	皮膚科学	2,000,000円	補委 厚生労働省 科研費
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2
総計 58

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門

計 0
総計 306

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 島田 和幸
管理担当者氏名	病院事務部長 高橋 喜代志

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴室及びそれぞれの部署にて電子管理	患者ごとの患者受診登録番号による
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	経営管理課	
	閲覧実績	経営管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課及び薬剤部		
第規 一則 号第 一に 掲条 げの 十 体一 制第 一 確項 保各 の号 状及 況 び 第九 条の 二 十三 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	人事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	人事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	人事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	経営管理課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全対策部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全対策部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	用度課及び臨床工学部
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全対策部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 島田 和幸
閲覧担当者氏名	病院事務部長 高橋 喜代志
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.3 %	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	24500	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	23018	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1523	人
	D: 初診の患者の数	49840	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・指針の主な内容： 組織に関すること 重大事故発生時の対応 リスクマネジメントへの取り組み	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容： 医療事故・インシデントの予防対策の検討・推進 問題発生時の分析・改善策の立案・周知 職員研修計画の策定・実施・評価	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 19 回
・研修の主な内容： 抗がん剤の危険性 警察と病院 急変時にやるべきこと・できなかったこと 輸液・シリンジポンプ研修 ヒューマンエラー事象分析	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： テストラングの中央管理 エレベーターと床のすき間工事 グリセリン浣腸の規格変更	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (8 名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (13) 名 ・活動の主な内容： 事故等発生した場合の原因究明、指導、分析、対応策の検討 インシデント・アクシデントレポートの分析 医療安全管理に関する連絡調整	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策に関連する委員会に関する基本的事項 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告とそれに対する対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容： 病院長が積極的に感染対策に関わり、院内感染対策委員会、ICT、感染制御部が中心となって、すべての職員に対して組織的な対応と教育・啓発活動をする。 院内感染対策委員会で検討した事項は病院長に諮問した上で日常業務化する。 感染制御部長は ICT および感染制御部を統括する。 感染管理専従主任看護師は感染管理リンクスタッフ勉強会を主催、統括する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年52回
<p>・研修の主な内容： 新入職員対象オリエンテーション（研修医向け・看護師向け）：年2回（各1回） 研修医向け合同研修会：年1回 全職員対象講演会：年2回（同一内容のDVD上映会・各4回） 『自治医科大学附属病院における新型インフルエンザ対策』 『あなたの手、その手袋は大丈夫？』 ICT 外来・病棟部門監査フォローアップ勉強会：年35回 リンクスタッフ（所属部署の感染管理担当者）勉強会：年11回 清掃業務委託業者への研修会：年1回</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染制御部は臨床検査部・細菌検査室から微生物データを営業日に提供を受けて状況を把握している。 すべての職員に配布した感染対策マニュアルにアウトブレイク対応の手順が明記されている。 感染管理基礎データを収集して病棟毎に侵襲的処置の状況を月毎に確認している。 すべての病棟から MRSA 検出症例に関する状況を日報として感染制御部へ報告している。 医療従事者の針刺し・切創について感染症科の協力を得て常時対応としている。 独立した感染症科が組織横断的なコンサルテーション診療による適正抗菌療法を図っている。</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・研修の主な内容： 平成21年4月3日 薬剤師の役割と連携について（対象：新人看護師） 平成21年4月6日 薬の処方および麻薬の取扱い（対象：レジデント） 平成21年5月26日 医療現場における抗がん剤の危険性と取扱上の注意点（対象：全職員） 平成21年9月7日 麻薬および向精神薬、毒薬の取り扱いについて（対象：4 A病棟職員）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (有 ・ 無) ・業務の主な内容： 業務手順書の改定（第5版） チェックリストによる手順書に基づく業務の実施状況調査	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤部ウェブ情報サービス（医療安全感染対策情報コーナー）の充実 危険薬に関するアンケート調査 注射薬の配合変化情報	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
・ 研修の主な内容： ①人工呼吸器について（医師、看護師対象） ②輸液シリンジポンプについて（看護師対象） ③除細動器について（医師・看護師対象） ④AEDについて（看護師対象）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： ①人工心肺装置及び補助循環装置 ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置 ⑤閉鎖式保育器 ⑥診療用高エネルギー放射線発生装置 ⑦診療用放射線照射装置 について保守点検計画を策定し実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ①医療機器の安全使用のために必要な情報を収集した場合は、共通の認識を持つために関連部署への情報提供 ②医療機器の安全使用のための研修会実施 ③医療機器の安全使用を目的とした事例の分析、検討、報告 ④医療安全対策部において医療安全に係る情報を掲載した「あんぜん便り」という文書を作成、各部署に配布することにより、医療機器の安全使用を目的とした改善策等についての情報を提供している	